

## 昔の梅が丘小学校区 主なもの抜粋

### 【江戸時代】

1639（寛永16）年

水戸藩附家老 \*中山備前守信吉が、川和田、見和の地に別荘を建てるために付近の原野を開拓し『見和新田』（川和田の和と見和の見から名付けられた）と称したのが、梅が丘小学区のはじまりといえる。

1641（寛永18）年

寛永検地により中山備前守が開拓した見和新田の検知石高560余石。

1666（寛文6）

附家老中山氏は備前守信治のとき見和新田を藩府へ納め代替地の常葉村へ転居して開拓，新屋敷と称す。

\*中山備前守信吉（1577年～1642年）

徳川家康の側近として仕え，家康の命により，十一男徳川頼房（水戸藩初代藩主）の附家老に任じられた。附家老とは，徳川家康の意向で作られた役職。尾張家の成瀬・竹腰両氏，紀伊家の安藤・水野両氏，水戸家の中山氏がその位につき，譜代大名の城主クラス高い地位であった。これは，徳川御三家を強固にして，幕府との連絡を密接にするとともに，場合により幕府から御三家を監督する意味も含まれていたらしい。水戸藩では，代々中山家がこの附家老の家であった。のちに高萩の松岡藩主となる。

なお，徳川光圀を2代藩主に選んだのもこの中山備前守信吉であった。

### 【明治】

1889（明治22）年 緑岡村大字見和 と称す。見和戸数54戸，人口373人

1892（明治25）年 緑岡尋常小学校見和分教場（現見川小学校）が見川尋常小学校となり，学区を見和・見川と定める。



「水戸上市」明治25年8月28日

陸軍帝国第1師団司令部



## 【戦後】

1946（昭和21）年 見和戸数125戸（日吉神社歳時記録帳による）



昭和21年6月 水戸市見和2丁目，姫子付近上空 米軍撮影

## 【現在】



平成24年 水戸市見和，姫子付近 上空 国土地理院撮影